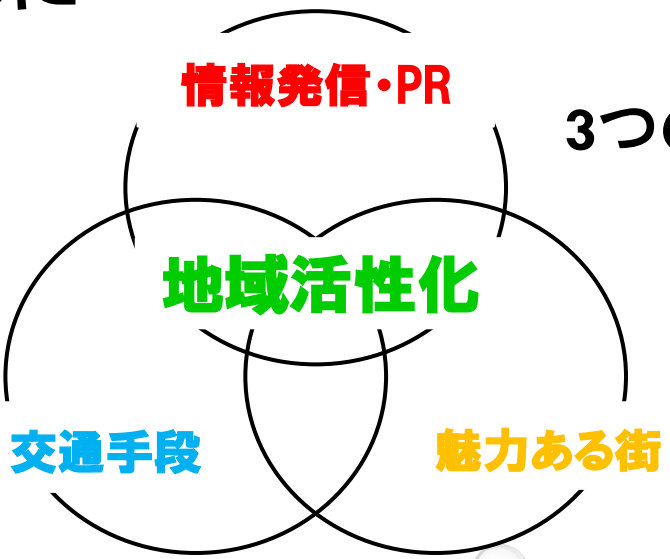
直江津地域活性化プラン

-マゼランペンギンの特色を活かして-

上越教育大学「現代社会論」

岩波駿，川添昂也，佐藤和輝

はじめに

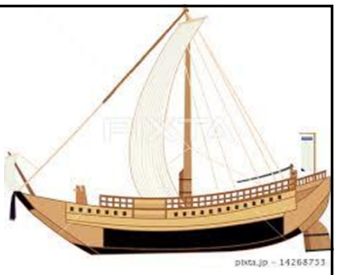


3つの視点

発表内容

- Ⅰ　直江津と水族博物館の歴史
- Ⅱ　現在の地域活性化への取り組み
- Ⅲ　直江津地域活性化への提案
- Ⅳ　展望

1.港のまち「直江津」



【古代～近世】

706年　直江津に国府（国主・威奈大村）が置かれる

741年　聖武天皇の国分寺建立の詔により五智国分寺が建立される

1207年　親鸞聖人が国府に配流される

1223年　貞応廻船式目に江澗（直江津）が**日本海七湊**のひとつとして記載される

1562年　長尾輝虎（上杉謙信）が五智国分寺を再興する

戦国時代には，京都に次ぐ大都市の港として京阪神地方や九州 、北海道 とも交易が行われていた！

現在，福島城の跡地には「上越市立古城小学校」が建っている

1607年　堀秀治が現在の直江津港付近に**福島城**を築城する

1.港のまち「直江津」

【近代～現代】

1889年　町村制により「直江津町」となる（人口1万人）　→ 1954年には「直江津市」

1951年　直江津港が国の**重要港湾**に指定される

1966年　直江津港が**国際港**の指定を受ける

1971年　高田市と合併し「上越市」となる

1980年　**上越市立水族博物館**が開館する

近年の直江津港は大規模な石油ターミナルや火力発電所がある。佐渡汽船ターミナルからは、佐渡へのフェリーも就航しており、観光の拠点ともなっている！

「直江津」は港のまちとして発展してきた歴史がある！

2.上越市の水族館の歴史

1934年　滝栄六郎氏が個人経営の**水族館**を八坂神社前に建設　(1943年　閉館)

1949年　中田松三氏が個人経営の**水族館**を本砂山(中央4丁目)に建設

1951年　**「財団法人直江津水族館」**と改称

1953年　登録博物館の認可を得て、**「直江津水族博物館」**と改称

1954年　直江津市に移管され、**「直江津市立水族博物館」**と改称

1957年　海浜公園内に移転・新築・開館

1971年　直江津市と高田市の合併により**「上越市立水族博物館」**と改称

1980年　現在の場所に**「上越市立水族博物館」**が移転・新築・開館

1993年　ペンギンランドを新設　マリンジャンボ、マリンスタジアムの増築　現在に至る…

上越市の
水族館には
80年
を超える
歴史がある！

Ⅱ　地域活性化への取り組み

平成27年度に新水族博物館を核とした地域活性化検討会を立ち上げ、平成30年の新水族博物館オープンに向け、直江津地域の魅力発信と街の賑わいの創出を目的に様々な事業を検討実施しています

【検討委員】
直江津地区町内会長協議会、五智地区町内会長連絡協議会、直江津まちづくり活性化協議会、直江津菓子組合、上越市飲食店組合、直江津食堂組合、直江津旅館組合、えちごトキめき鉄道(株)、頸城自動車(株)、上越教育大学、直江津地区校長会、上越市商工会議所青年部、上越市商工会議所女性会、上越市立水族博物館

7つの事業

- ①水族博物館とまちの相互の情報発信（水族博物館PR事業）
- ②商品開発と物販の仕組みづくり
- ③特典プランづくり
- ④おもてなしプロジェクト
- ⑤水族博物館⇔商店街まちめぐりプロジェクト
- ⑥街なか水族館
- ⑦直江津マッププロジェクト

①水族博物館とまちの相互の情報発信
(水族博物館PR事業)

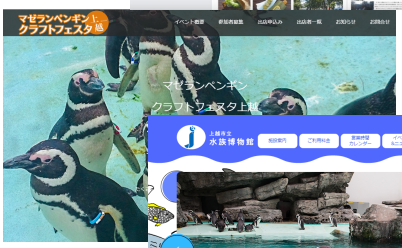
【マゼランペンギン
クラフトフェスタ上越】

【すいはく新聞】

⑤水族博物館⇔商店街まちめぐりプロジェクト

【ホームページの作成】

『みなとまちあるき』
(http://minatomachi-naoetsu.com/)



⑥街なか水族館

【直江津駅北口　改札口前】

⑦直江津マッププロジェクト

【直江津まちあるきマップ】

上越教育大学の
学生がつくりました！

水族博物館の
入り口にも
置かせて
頂いています！

Ⅲ　直江津地域活性化への提案

~マゼランペンギンを活かした地域活性化案～

さらに魅力的なまちへ

◎私たちが考える課題

①情報発信が不足している

②「ペンギンのまち、直江津」が弱い

③ 交通の不便さ

☆魅力的なまちにするために…

① 魅力を知ってもらうPR

②「ペンギン」で溢れる直江津のまち

③ 気軽に街へ行ける交通手段

Ⅲ　直江津地域活性化への提案
～マゼランペンギンを生かした地域活性化案～

背景

・新水族館開館初年度来館者数60万人
・水族博物館と直江津駅が離れている　・ほとんどの方が車で訪れる

3つの提案

【情報発信・PR】

・流れを生む観光マップ
・ペンギン検定
・年間パスポート
　(年パス)の工夫

【ペンギンで溢れるまち】

・ペンギンストリート
・空き家を利用した
　ペンギンの家

【交通手段】

・ゴルフカーの活用
・ペンギンをデザインした
　電車やバスの運行

PR

流れを生む「観光マップ」

◎水族館から直江津のまちへ

興味・関心の最初の誘発剤である「観光マップ」

◎‘水族館へ来た人視点’のマップ作成へ

水族館と連携した店舗の紹介

（半券による割引・

水族館に由来した商品やグッズ）

水木しげるロード　ガイドマップ
引用http://www.sakaiminato.net/site2/page/roadmap/map/
（境港市HP　観光ガイド　最終閲覧2016,12,2）

PR ペンギン検定

◎上越市立水族博物館はマゼランペンギンの飼育数国内(世界)№1

◎ペンギン飼育の歴史もあり、飼育知識の蓄積がある

◎日本人は無類の「検定」好き

◎初心者にも興味をもってもらえる商品

(http://hokkoku.bunkacenter.or.jp/topix/kanken/)

◎実施日を限定⇒プレミア感、効率的な集客が期待できる

◎水博全体の情報発信につながり、博物館の形をとっている理念にもかなう

PR 年間パスポート(年パス)の工夫

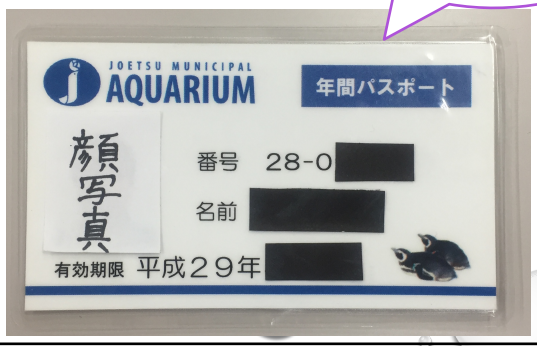
・現在の年パスは、ラミネート加工した非常にシンプルな形…

⇒年パスにマゼランペンギンの羽(実物)を封入する！

今年度の
デザインは
こんな感じ！

◎オリジナル・プレミア感が増！

◎一押しの展示を知ってもらえる！



まち 「ペンギンストリート」

◎直江津のまちの新しい特色「ペンギンのまち・直江津」

まちへ来た人が一目で判るように＝まちと水族館（ペンギン）の一体化

→ペンギンをモチーフとしたまちづくり（ゲート・マンホール・像・ベンチ…）

引用：
水木しげるロード
http://web.sanin.jp/p/daisenking/1/6/5/5/ （大山王国HP 最終閲覧 2016.12.2）

マンホール
http://www.tokyo-np.co.jp/article/tokyo/list/201603/CK2016031502000170.html （東京新聞HP 最終閲覧 2016.12.2）

まち 空き家を活用した「ペンギンの家」

◎商店街の空き家を活用
◎直江津駅と水族館を繋ぐ拠点
◎イベントスペースの設置
◎まちのシンボル

【空き家を活用した事例】
・新潟市南区の商店街
・市民が参加できるのアートスペースに
・住民が集まれる場に

交通 ゴルフカーの活用

◎初期投資を最小限に抑えられる
◎観光客の「今！」に答えられる
◎4人乗りが可能
◎公道も走行可(時速は約19キロ)
◎子どもが興味を示す

朝日DIGITALhttp://www.asahi.com/topics/word/%E5%8D%97%E4%B8%89%E5%B8%82.htmlより (京都府南丹市の例)

交通 ペンギンをデザインした電車やバスの運行

◎「マゼランペンギンのまち、直江津」のPR
◎新幹線等で訪れた観光客の利用
◎地元企業との連携

○富士急行線 「トーマスランド号」

○長野県諏訪市 「かりんちゃんバス」

Ⅳ　展望

【情報発信・PR】

- 流れを生む観光マップ
- ペンギン検定
- 年間パスポート（年パス）の工夫

【ペンギンで溢れるまち】

- ペンギンストリート
- 空き家を利用した ペンギンの家

【交通手段】

- ゴルフカーの活用
- ペンギンをデザインした 電車やバスの運行

直江津の地域活性化へ

訪れた人に水族博物館のこと、まちのことを知ってもらう

まち(地元)の人に水族博物館を知ってもらう

水族博物館のサポーターを増やす

ご清聴有難うございました！